

子育て支援ニーズ調査の結果で

注目した内容について

## (1) 調査の目的

子育て支援に関する施設やサービスの利用状況、今後の利用希望等の子育て支援サービスに関するニーズを把握するために実施。

## (2) 調査の概要

調査対象	市内在住の「就学前児童」の保護者 及び「小学生」の保護者
調査期間	令和6年1月31日～2月22日

## ■ 注目した点（その1）

### ○行政サービスの利用状況等 (①:就学前保護者 ②:小学生保護者)

産後ケア（宿泊型）①	認知度:31%	利用経験:1%	利用意向:14%
出産後の母親と乳児が心身を休めながら、育児相談や授乳支援の指導を指定機関で宿泊して受けられるサービス。出産後1年未満の子どもと母親が対象。			
産前・産後ヘルパー①	認知度:33%	利用経験:6%	利用意向:15%
産前（母子健康手帳所持者）、産後（12週以内）であり、体調不良などで家事や育児を行うのが難しい世帯に対してホームヘルパーを派遣。			
アミリー・サポート・センター	①	認知度:57%	利用経験:7%
	②	認知度:60%	利用経験:13%
仕事や用事等で一時的に子どもの世話をできないときに、事前登録制による手助けが必要な方（依頼会員）と手助けできる方（提供会員）をマッチングするもの。			

## ■ 注目した点（その1）

### ○ファミリー・サポート・センターについて（令和6年度実績）

#### (1) 会員数

依頼会員	提供会員	両会員
276名	43名	9名

#### (2) 主な依頼内容

習い事への送迎	55%	保育園・幼稚園への送迎	25%
放課後児童クラブへの迎え	5%	保護者外出時の援助	4%

援助を受けたい依頼会員はいるが、  
提供会員・両会員ともに慢性的に不足している

## ■ 注目した点（その1）

### ○ 1つ目のテーマ

～身近なつながりが生まれると、まちはもっとあたたかくなる！～

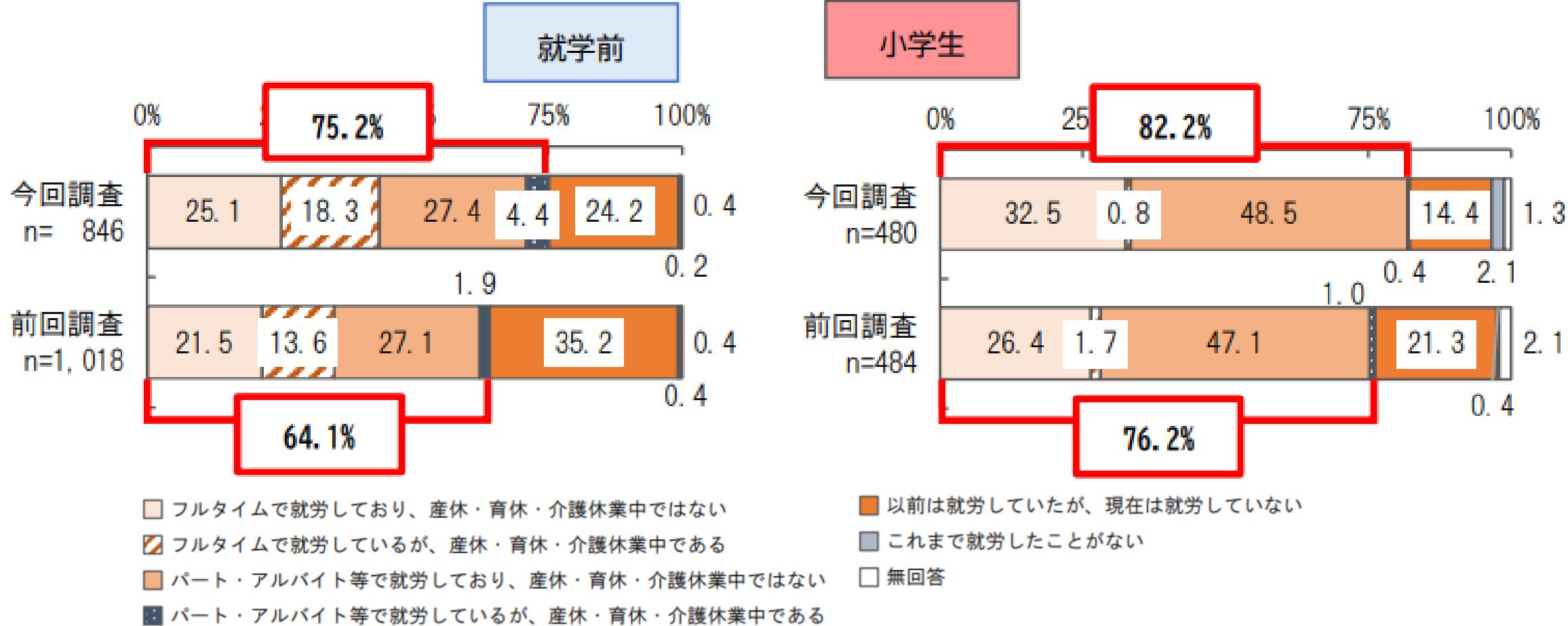
清須ファミリー・サポート・センターの  
提供会員(両会員)不足について考える

<意見出しの例>

- ・ 提供会員として登録することに対してハードルを下げるには…
- ・ 担い手となりそうなターゲット層は…
- ・ 活動への不安や責任面の懸念を取り除くには…

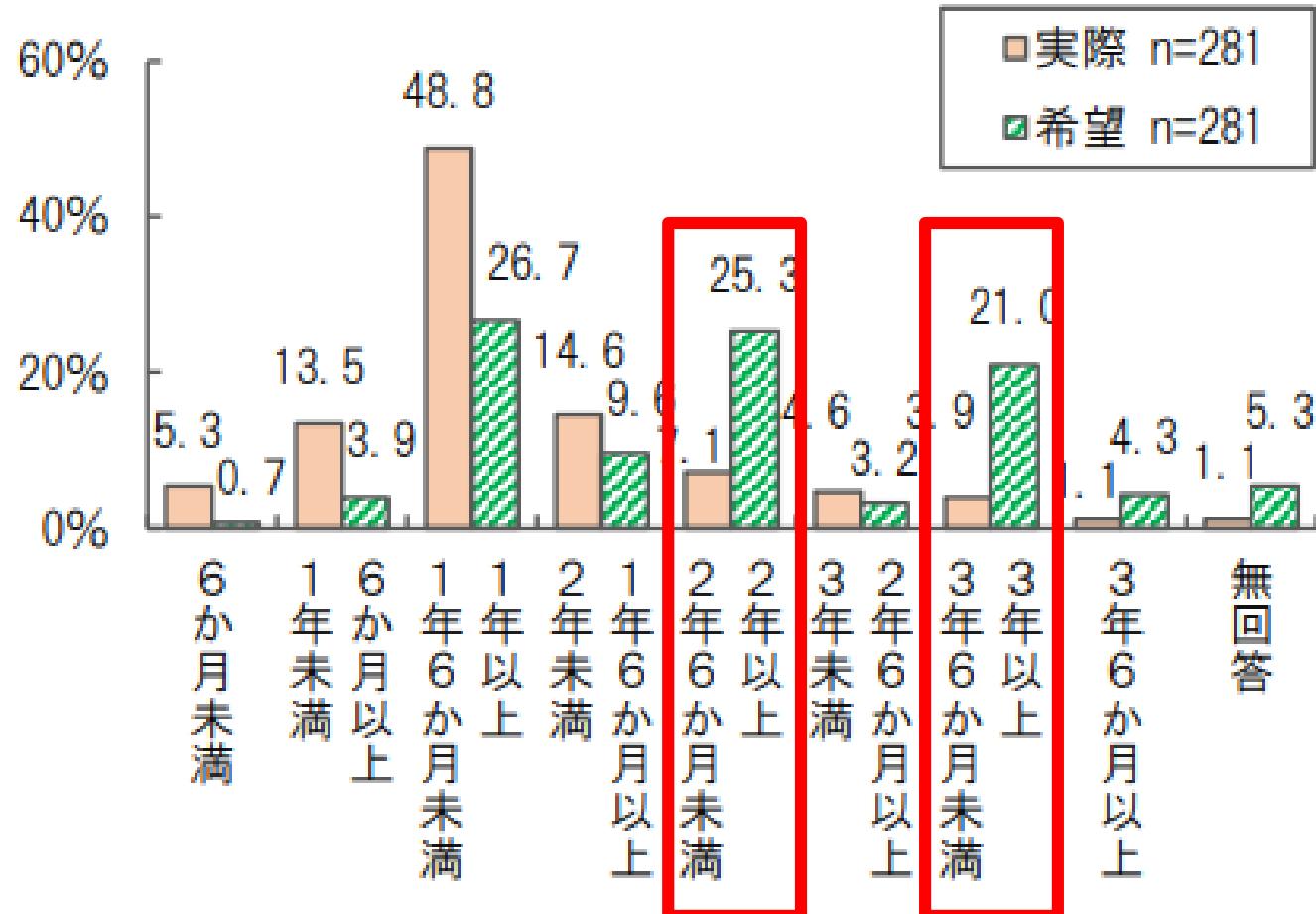
## ■ 注目した点（その2）

### ○母親の就労状況



## ■ 注目した点（その2）

### ○母親の育児休業の取得期間（実際の取得期間と希望する期間）



## ■ 注目した点（その2）

### ○市に期待すること

内 容	今回調査	前回調査
子育てのための経済的支援	76.0% 9.0ポイント増加	67.0%
仕事と子育ての両立や 育児休業の取得促進等企業に対する働きかけ	45.7% 2.2ポイント増加	43.5%

## ■ 注目した点（その2）

### ○2つ目のテーマ

～地域がチームになつたら、子育てはもっと楽しい！～

**子育てを、チームで。**

**地域主体で子育てを支える仕組づくりを考える**

<意見出しの例>

- ・一つの家庭に何人かの地域住民がつながる仕組はできないかな…
- ・地域に住んでいる学生を活用して何かできないかな…
- ・地元企業の社員が子育て世帯を応援する仕組はできないかな…
- ・企業や商店に子どもを預けられる仕組はできないかな…